

1



2



3



5

特別企画展

小川晴暘と飛鳥園 100年の旅

小川晴暘(おがわ・せいよう1894-1960)は姫路市出身で、仏像写真を芸術の域にまで高めた写真家です。彼が創立した仏像撮影専門の写真館・奈良「飛鳥園」は2022年に創立100年を迎えました。本展では小川晴暘と飛鳥園の100年にわたる歩みを紹介します。

画家志望であった小川晴暘は写真館の助手を務めながら絵を学んでいましたが、奈良で仏像などの文化遺産に感銘を受けたのを機に写真に傾注するようになり、會津八一の勧めで「飛鳥園」を創業しました。東洋美術の研究にも熱中し、中国や、韓国、東南アジアなどの文化遺産の調査・撮影も積極的に行いました。

本展は、小川晴暘・光三親子の写真作品を中心に、文化財保護活動を支えると同時に仏像写真を芸術の域に高めた飛鳥園の活動を振り返ります。飛鳥園に保存されている写真およびその原板や機材にくわえ、小川晴暘が調査の際に遺したスケッチや拓本、晴暘が発行した『東洋美術』などの古美術研究専門誌や文献資料もあわせ、古美術・文化遺産を愛した小川晴暘という人物の姿にも迫ります。また、現在も活動を続ける飛鳥園が近年撮った写真もまじえ、飛鳥園という「眼」が切り取った100年のまなざしを感じていただく展覧会です。



6

小川光三
5.《興福寺 阿修羅像》
6.《唐招提寺金堂 外観》
7.《東大寺法華堂
不空絹索観音菩薩像と天蓋》
すべて飛鳥園所蔵©Askaen.inc



4

- 小川晴暘
1.《雲岡石窟》
2.《中宮寺 菩薩半跏像
(伝如意輪観音菩薩像)右斜側面》
3.《東大寺法華堂 伝月光菩薩像》
4.《雲岡石窟スケッチ(部分)》
すべて飛鳥園所蔵©Askaen.inc



開催中の催し

講演会「飛鳥園の100年」

講師:小川光太郎氏(株式会社飛鳥園社長)
日時:7月13日(土) 午後2時から(約90分)
場所:姫路市立美術館 講堂
定員:80人 先着順

ギャラリートーク

日時:7月27日(土) 午後2時から(約60分)
場所:姫路市立美術館 企画展示室
定員:20人 先着順 *本展の入場券が必要

解説会

日時:8月11日(日) 午後2時から(約60分)
場所:姫路市立美術館 講堂
定員:80人 先着順

子ども鑑賞会

日時:8月24日(土) 午後2時から(約60分)
対象:小学生(大人も聴講可能)
場所:姫路市立美術館 企画展示室
定員:20組 *本展の入場券が必要

ボランティアによる 絵本よみかき

日時:7月14日(日)、24日(水)、8月10日(土)、24日(土)
各日とも午後1時30分から(約30分)
場所:姫路市立美術館 企画展示室
定員:20人 *本展の入場券が必要

同時開催

〈國富奎三コレクション室〉國富奎三コレクション
「フランス近代絵画 モネからマティスまで」

〈庭園アートプロジェクト〉
中谷美二子「霧の彫刻—体・音・光」
会期:4月27日(土)~12月1日(日)
場所:姫路市立美術館前

〈コレクションギャラリー〉夏休み子どもギャラリー
見てみよう 作品はアイデアの宝庫
会期:6月29日(土)~9月1日(日)
*入場無料

企画展

圓教寺 生き延びるための
デザインワーク
— これからの用の美 —
隈研吾 Engyōji Temple x Kengo Kuma
Design work for longevity
Utilitarian beauty for future

2024年6月16日—12月1日
書寫山圓教寺 三之堂前広場

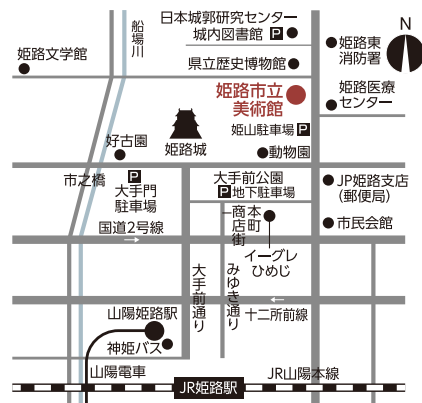
他館のご案内

特別展『画業50年のあゆみ 黒井健絵本原画展』
会期:7月6日(土)~9月1日(日)
場所:姫路文学館 Tel.079-293-8228

夏季特別展「夏休み子どもミュージアム

—江藤雄造さんと漆であそぼう—

会期:7月6日(土)~9月1日(月)
場所:姫路市書写の里・美術工芸館 Tel.079-267-0301



【アクセス】
JR・山陽電車姫路駅より神姫バス79乗り場から3 4 5 6 11 22 24 31 32 34 35
乗車約8分、「姫山公園南・国立姫路医療センター・美術館前」下車すぐ。姫路
駅より徒歩約20分(姫路城東隣)。
※上記路線バスのほか、姫路城ループバスも停車します
(停留所は「美術館前」)。
※美術館には駐車場がありませんので近隣の駐車場(有料)をご利用ください。

姫路市立美術館
Himeji City Museum of Art



姫路市立美術館
ホームページ

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25 TEL079-222-2288
最新情報は姫路市立美術館公式ホームページにてご確認ください。